



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月27日

上場取引所 東

上場会社名 日本ケンタッキー・フライド・チキン株式会社

コード番号 9873 URL <http://japan.kfc.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 渡辺 正夫

問合せ先責任者 (役職名) 経理ユニットゼネラルマネージャー (氏名) 渡辺 悦男

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日

TEL 03-3719-0231

平成23年11月28日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	42,080	△0.9	1,223	△28.8	1,255	△30.2	710	△16.8
23年3月期第2四半期	42,481	—	1,717	—	1,798	—	853	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 710百万円 (△16.5%) 23年3月期第2四半期 850百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	31.63	—
23年3月期第2四半期	37.51	—

(注) 平成23年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率につきましては、平成22年3月期に決算期の変更に伴う16ヶ月の変則決算となりましたので記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	38,888	23,324	60.0	1,038.65
23年3月期	41,011	23,317	56.9	1,035.25

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 23,324百万円 23年3月期 23,317百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	75.00	—	25.00	100.00
24年3月期	—	25.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成23年3月期第2四半期末配当金75円には、創立40周年記念配当50円が含まれております。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	90,000	1.3	2,600	△26.4	2,700	△27.2	1,400	△26.0	62.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
- ② ①以外の会計方針の変更 ： 無
- ③ 会計上の見積りの変更 ： 無
- ④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

24年3月期2Q	22,783,000 株	23年3月期	22,783,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期2Q	326,816 株	23年3月期	259,124 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

24年3月期2Q	22,468,128 株	23年3月期2Q	22,757,746 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災による自粛ムードが和らぎ消費マインドが回復基調にあるものの、原発事故の影響による電力供給への不安、欧米をはじめ海外景気の下振れ、さらに資源価格の高騰や円高傾向の加速など、先行きは不透明な状態が続きました。

外食業界におきましても、消費者の生活防衛意識は依然として根強く、食の安全に対する懸念や食材価格の高騰、さらには一部地域における電力使用制限令の実施など企業を取り巻く事業環境は一般に厳しい状況が続きました。

このような環境の下、当社グループ（当社及び連結子会社）は、引き続き中期経営計画「A B R 2011-Achieving Breakthrough Results 2011」に則って、「足元固め」をしっかりと行うとともに、将来の成長に向けた「前向きな攻めの施策」を実行してまいりました。さらには、お客様に安全で安心な商品を提供するとともに、多様化する消費者ニーズに対応した新商品の開発・投入と併せて、効果的な広告宣伝活動を積極的に展開してまいりました。

東日本大震災の影響につきましては、直営店の被害は軽微なものに留まりましたが、一方、東北地方を中心としたフランチャイズ店舗においては広範囲で全壊を含む被害が発生しました。当社グループは、復興に向けて被災地への寄付やボランティア活動など様々な支援活動に参加するとともに、ケンタッキーフライドチキン（K F C）チェーンにおいては子供たちへの支援プロジェクト「カーネルKids with Smile Project」を、ピザハットチェーンにおいては「東日本支援プロジェクト」を立ち上げるなど、全チェーンを挙げて、復興支援活動に取り組んでまいりました。

なお、震災に伴い当初、売上、利益共に一定の影響を受けましたが、震災からの復興が進むにつれて当社グループの事業環境も改善し、当社第2四半期には収益性も大きく改善しました。これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は420億8千万円（対前年同月比0.9%減）、営業利益は12億2千3百万円（同28.8%減）、経常利益は12億5千5百万円（同30.2%減）、四半期純利益は7億1千万円（同16.8%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間の連結財政状態は、前連結会計年度末と比較して総資産は21億2千3百万円減少し、388億8千8百万円となりました。その主な要因は、現金及び預金の減少33億4百万円、売掛金の増加2億4千5百万円、有価証券の増加9億9千9百万円、繰延税金資産の減少2億1千4百万円及び無形固定資産の増加2億5千9百万円等によるものであります。

負債は21億2千9百万円減少し、155億6千4百万円となりました。その主な要因は、未払金の減少9億6千5百万円、未払法人税等の減少6億9千9百万円及び賞与引当金の減少4億4千5百万円等によるものであります。

純資産は233億2千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ6百万円増加し、自己資本比率は60.0%となっております。その主な要因は、四半期純利益の計上7億1千万円、剰余金の配当による減少5億6千3百万円及び自己株式の取得による減少1億4千万円等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して53億4百万円減少し、85億3百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは6千4百万円の収入となりました。その主な要因は、税金等調整前四半期純利益13億6百万円、減価償却費11億3千7百万円、賞与引当金の減少4億4千5百万円、売上債権の増加2億1千9百万円、たな卸資産の増加1億6千7百万円、未払金の減少4億3千1百万円及び法人税等の支払9億7千3百万円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは45億8千5百万円の支出となりました。その主な要因は、定期預金の預入による支出60億円、定期預金の払戻による収入50億円、有価証券の取得による支出20億円及び有形・無形固定資産の取得による支出17億1千2百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは7億8千4百万円の支出となりました。その主な要因は、配当金の支払額5億6千6百万円及び自己株式の取得による支出1億4千万円等によるものであります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の業績等は今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想につきましては平成23年4月28日に公表しました「平成23年3月期決算短信」に記載の平成24年3月期の通期の業績予想（平成23年4月1日～平成24年3月31日）に変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,808	12,503
売掛金	3,195	3,440
有価証券	1,180	2,180
商品	522	702
原材料及び貯蔵品	149	137
前払費用	456	497
短期貸付金	10	9
繰延税金資産	719	505
その他	755	698
貸倒引当金	△248	△196
流動資産合計	22,549	20,479
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,594	2,592
土地	2,862	2,862
その他（純額）	1,772	1,696
有形固定資産合計	7,228	7,151
無形固定資産		
のれん	13	10
ソフトウェア	1,337	2,156
ソフトウェア仮勘定	1,076	526
その他	127	120
無形固定資産合計	2,555	2,814
投資その他の資産		
投資有価証券	154	153
差入保証金	6,216	6,114
繰延税金資産	2,057	1,955
その他	421	390
貸倒引当金	△172	△170
投資その他の資産合計	8,678	8,443
固定資産合計	18,461	18,409
資産合計	41,011	38,888

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,680	5,850
未払金	4,269	3,304
リース債務	140	178
未払法人税等	1,044	345
未払費用	213	178
賞与引当金	873	427
役員賞与引当金	64	—
資産除去債務	6	6
その他	753	786
流動負債合計	13,046	11,077
固定負債		
リース債務	359	370
退職給付引当金	2,505	2,572
役員退職慰労引当金	106	42
ポイント引当金	111	106
長期前受収益	394	214
資産除去債務	624	617
その他	546	563
固定負債合計	4,648	4,487
負債合計	17,694	15,564
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,297	7,297
資本剰余金	10,430	10,430
利益剰余金	6,105	6,253
自己株式	△531	△672
株主資本合計	23,301	23,308
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16	15
その他の包括利益累計額合計	16	15
純資産合計	23,317	23,324
負債純資産合計	41,011	38,888

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	42,481	42,080
売上原価	22,631	22,582
売上総利益	19,850	19,498
販売費及び一般管理費	18,133	18,274
営業利益	1,717	1,223
営業外収益		
受取利息	11	6
受取配当金	1	1
受取賃貸料	101	106
その他	4	11
営業外収益合計	120	126
営業外費用		
支払利息	6	7
店舗改装等固定資産除却損	24	31
賃貸費用	—	46
その他	7	9
営業外費用合計	38	94
経常利益	1,798	1,255
特別利益		
固定資産売却益	39	0
営業権売却益	41	—
貸倒引当金戻入額	5	—
収用補償金	24	41
その他	13	40
特別利益合計	124	82
特別損失		
固定資産売却損	19	—
固定資産除却損	9	14
店舗閉鎖損失	15	1
早期割増退職金	9	6
減損損失	7	8
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	466	—
その他	6	—
特別損失合計	535	31
税金等調整前四半期純利益	1,387	1,306
法人税、住民税及び事業税	271	279
法人税等調整額	262	316
法人税等合計	533	595
少数株主損益調整前四半期純利益	853	710
四半期純利益	853	710

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	853	710
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2	△0
その他の包括利益合計	△2	△0
四半期包括利益	850	710
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	850	710
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,387	1,306
減価償却費	1,091	1,137
減損損失	7	8
有形固定資産除却損	33	36
有形固定資産売却損益(△は益)	△21	△0
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△14	△53
賞与引当金の増減額(△は減少)	428	△445
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△300	△64
退職給付引当金の増減額(△は減少)	39	67
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△9	△64
ポイント引当金の増減額(△は減少)	7	△5
受取利息及び受取配当金	△13	△8
支払利息	6	7
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	466	—
売上債権の増減額(△は増加)	153	△219
たな卸資産の増減額(△は増加)	△367	△167
仕入債務の増減額(△は減少)	555	170
未払金の増減額(△は減少)	△717	△431
未払費用の増減額(△は減少)	△1,343	△34
前受収益の増減額(△は減少)	△90	△90
未払消費税等の増減額(△は減少)	△49	△76
収用補償金	△24	△41
その他	△42	7
小計	1,185	1,038
利息及び配当金の受取額	16	7
利息の支払額	△6	△7
法人税等の支払額	△694	△973
営業活動によるキャッシュ・フロー	500	64
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△5,000	△6,000
定期預金の払戻による収入	6,000	5,000
有価証券の取得による支出	—	△2,000
有価証券の償還による収入	1,800	—
店舗譲渡による収入	—	31
有形固定資産の取得による支出	△617	△622
有形固定資産の売却による収入	138	0
無形固定資産の取得による支出	△526	△1,090
無形固定資産の売却による収入	0	—
貸付けによる支出	△3	△3

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
貸付金の回収による収入	6	5
敷金及び保証金の差入による支出	△85	△63
敷金及び保証金の回収による収入	283	161
その他	△1	△3
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,993	△4,585
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△10	△140
リース債務の返済による支出	△61	△76
配当金の支払額	△1,020	△566
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,092	△784
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,402	△5,304
現金及び現金同等物の期首残高	11,096	13,808
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,498	8,503

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			合計
	KFC事業	ピザハット事業	その他事業	
売上高				
外部顧客への売上高	34,612	7,647	222	42,481
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	34,612	7,647	222	42,481
セグメント利益又は損失(△)	3,452	△56	△82	3,313

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,313
全社費用(注)	△1,596
四半期連結損益計算書の営業利益	1,717

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			合計
	K F C 事業	ピザハット事業	その他事業	
売上高				
外部顧客への売上高	34,029	7,801	250	42,080
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	34,029	7,801	250	42,080
セグメント利益又は損失 (△)	3,178	△132	△37	3,007

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,007
全社費用(注)	△1,784
四半期連結損益計算書の営業利益	1,223

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。